

議案第1号について結論！

基本方針の再編案 3分の2の賛成得られず

3月23日(月)午後6時30分からひかた市民センターにおいて、第3回(仮称)北統合中学校学校再編代表者会議を開催しました。

今回の会議では、議案第1号「琴田小・共和小・中和小・萬歳小・古城小の5つの学区を対象に、中学校を新設すること」について、採決を実施しました。

採決の結果は、賛成13名、反対10名となりました。

条例では出席委員の3分の2以上で決すると規定されているので、この日の出席委員23名の3分の2である16名以上の賛成が得られなかったため、議案第1号は反対という結果になりました。

今後は学校再編基本方針とは異なる方向性について検討していくことになります。

議案第1号に対する意見

【賛成意見】

- ・中学校というのは人間形成の基礎となる期間だと思うので、新しい中学校を作って、しっかりした施設で環境を整えてあげたい。

【反対意見】

- ・子供にとってどんな環境がいいかは人それぞれ考えが違うと思うので、その学校が持続可能かどうかで判断した。70億円近いお金をかけて持続可能ではないものを作っても、それは今の子供たちが将来負うべき借金になる。また、令和8年度の一般会計予算が328億円なのに70億円の大事業を行うというのは、市としての持続可能性にも関わってくる。
- ・まずやるべきことは子供たちが適正な人数で学習できるようにすることだと思う。
- ・新築には賛成だけど、人数の関係で反対。

第4回会議予定 日時:令和8年5月20日(水) 午後6時30分～

場所:旭市役所 1階市民ホール

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。



今後の方向性に関する委員の意見

○子供が減っていく中で、学区の再検討と市全体の都市計画、市としてどうしていくかという展望も一緒に考えていくべき。また、干潟中の人数の減少は深刻だと思うので、そこは別で考えていくべきだと思う。	○大規模な改修や建て替えは在学中の子供たちに制限がかかるので、不便な思いをさせたくない。干潟中を一旦二中に統合して、その間に新しい場所に校舎を新設して、そこに一中、二中、干潟中を全部まとめたらいいいのではないか。
○干潟中が来年度単学級になると聞いたので、本当に急いでもらいたい。	○今のご時世で子供を炎天下の中、何十分も自転車で通わせるのはどうかと思うので、スクールバスは出してほしい。
○一旦二中に統合して、干潟中を空けてからそこに建て替えるのもありだと思う。災害が起きた時の避難場所という意味でも、今の干潟中の位置にあったほうがいい。	○来年度の矢指小の新入生が5人と聞いた。他地区ではあるが、市としては全体の話になるので、その辺も考えながら市全体の方向性を示してもらいたい。
○時代的にみんな送迎しているので、スクールバスについてはもっと重く受け止めてもらい見直してもらいたい。	○一中も一学年が20人を切ることも想定されるので、北側だけではなく、南側も一緒に考えていかなければいけないと思う。
○まず建物を作って、人数が少なくなったらどんどん統合していき、最終的には旭市で一つになっても耐えられるようなものを作ってあげばいいのではないか。	

今後の方向性について



Q 今回「反対」になったので、もう統合はしないの？

A 今回はあくまでも学校再編基本方針に示されている「5つの学区で中学校を新設」という再編案に対して反対という結果になりました。会議の中でも統合自体は望む声が多いので、別の形の統合を検討していきます。

Q もう校舎の新設はしないの？

A 地域検討会議では「学区を見直して新築」や「二中や海上中を活用する」という意見がありました。干潟中と一中の現状を踏まえた上で、改めて長期的・広域的な視点で考えながら、新設するか否かを含めて、方向性を協議していきます。

